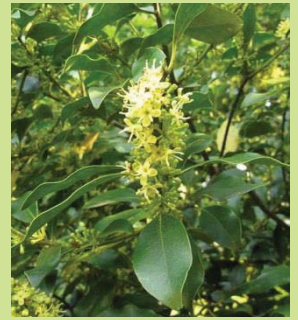


WEEKLY NEWS 2013-2014年度 第2640地区 和歌山東南ロータリークラブ

週報 24号
通算 2076回



例会日：水曜日
第1・第2：18:30～(夜) 第3・第4・第5：12:30～(昼)
例会場：ルミール華月殿 和歌山市屋形町 2-10
事務局：〒640-8215 和歌山市橋丁 23
サイバーリンクス N-4ビル 2階
TEL 073-423-3666 FAX 073-423-7200
http://www3.cypress.ne.jp/tonan-rotary.html
E-mail：a-rotary@coral.cypress.ne.jp
会長：郷間博敏 幹事：奥村智子
会報委員長：谷口 拓・副委員長：赤在依美



串本町の花《モクノキ》

本日の例会
1月15日(水)
12:30～華月殿

ロータリーソング：四つのテスト
行事：外部卓話
「がんと闘う。がんで亡くなった方を偲ぶ」
リレー・フォー・ライフ 事務局長 南出尚美様

次回の例会
1月22日(水)
12:30～華月殿

行事：外部卓話 「伊太祁
曾神社について」
伊太祁曾神社
禰宜 奥 重貴様

先週例会報告

ゲスト・ビジターはございません。

会場監督 赤井 誠

会長挨拶

郷間 博敏 会長

新年おめでとうございます。今年は穏やかな天気が続きました。あと残り半年、台北東南RC表敬訪問・熊本東南RC30周年記念式典となんとか無事に終われそうと思いましたが、昨日、お客様のところに挨拶に行くと「3日に社長が亡くなった」と、帰ると「やしきたかじんさん」も。健康には気をつけなければいけないと思いました。

地区より2015-16年度ガバナーノミニの失職通知と2015-16年度のガバナー候補者推薦書提出のお願いが届いております。又、地区とは別に会長会議での2015-16年度ガバナー候補に、現時点で和歌山地区から1名推薦されております。



幹事報告

奥村 智子 幹事

《理事会報告 131211》

- ・和歌山放送チャリティ・ミュージックソン「目の不自由な方・障害のある方へ「通りゃんせ基金」協力依頼。協賛しないことを決定。
- ・和歌山新報 年始広告依頼。承認。料金 10,500 円は雑費より。
- ・フィリピン台風義援金。11月27日、12月4日の例会でBOX回ささせていただきました。68,000円集まりました。差額32,000を国際奉仕より支出。計100,000円を和歌山中RCにお渡しして、フィリピンサンペドロRC(和歌山中RC姉妹クラブ)に送金する件。承認。



《幹事報告》

- ・1月のロータリーレートは1\$=102円です。
- ・ガバナー月信 1月号を各テーブルに1部ずつ置いております。お目通しください。
- ・串本町より「串本町竜巻被害」支援金領収書が届いております。各テーブルに1部ずつ置いております。お目通しください。
- ・和歌山新報(1月1日)に当クラブの年始広告が掲載されておりますので、回覧いたします。
- ・地区より青少年交換短期学生募集の案内が届いております。2014年7月～8月の3週間程度。募集期限は2月28日。
- ・地区より三者交流会(ロータリークラブ・ローターアクトクラブ・インターアクトクラブ)の案内が届いております。日時・場所は2月16日(日)10:00～15:00、羽衣学園中・高等学校。

ニコニコ	米山奨学金	ロータリー財団	東南育英会	紀南災害義援BOX
累計 1,521,776	136,000	140,000	18,000	0

出席報告	出席者	出席率
会員総数	50名	1/8 38名 77.55%
出席免除会員	4名	12/11 36名 76.60%

- 郷間君・新年おめでとうございます。鯨坂様ご入会おめでとうございます。
- 奥村君・明けましておめでとうございます。皆様のご協力のおかげで半年無事すぎる事が出来ました。どうかあと半年もよろしくお願い申し上げます。
- 赤井君・明けましておめでとうございます。今年もよろしく願いいたします。
- 角谷君・新年お目出度うございます。
- 中板君・明けましておめでとう。賀状ありがとうございました。今年もよろしく願いします。
- 中村君・明けましておめでとう。今年もよろしく。
- 青木君・鯨坂さん ご入会おめでとうございます。一緒にロータリーを楽しみましょう。
- 保田君・会員の皆様おめでとうございます。今年もよろしく。
- 辻本君・おめでとうございます。郷間会長はじめ執行部の皆様、あと半年頑張ってください。
- 溝落君・明けましておめでとうございます。今年も親睦委員会へのご協力お願いします。
- 山口君・お目出とうー。1年も宜しくー。
- 吉田君・おめでとうございます。本年もよろしく願いします。
- 平君・あけましておめでとうございます。本年もよろしく願いします。
- 和田君・皆様、あけましておめでとうございます。今年もよろしく願いします。
- 山田(さ)君・あけましておめでとうございます。今年もどうぞよろしく願い致します。
- 赤在君・明けましておめでとうございます。本年も宜しく願いします。
- 西口君・今年もよろしく願いします。
- 津田君・お目出度うございます。
- 宇治田君・おめでとう。今年もよろしく願いします。
- 本人お誕生日お祝い・市川君、松浦君、津川君、南君、山田(敬)君。
- 配偶者お誕生日お祝い・中板君、溝落君、神谷君(傘寿を向えました。)、坂口君。



- 釜中君・鯨坂先生 入会おめでとうございます。

「新入会員入会式・バッジ授与式」 鯨坂恒夫会員

♪おめでとうございます♪



山本(唯)会員 より 鯨坂会員
のご紹介・鯨坂会員挨拶



郷間会長より鯨坂会員へ
バッジの授与



青木会員より
歓迎のご挨拶



『午年生まれ会員卓話』 南美和子会員・西口昭一会員



午年、年女の卓話 南 美和子会員



皆様明けましておめでとうございます。今年も宜しくお願いいたします。年女の卓話を仰せつかりましたので少しお時間を頂戴いたします。昭和17年1月1日に母が初詣から帰ってすぐに生まれたそうで元来お目出度くできているのはそのせいかもしれません。生家は今の紀州料理あおい茶寮と刺田彦神社の間にありましたが、和歌山の空襲で焼け出されました。父は私が2歳足らずの時出征致しました。空襲の時、母はおばあちゃんと私を近くの岡公園の池の前に避難させ布団をかぶせ、その上から池の水をかぶせて火の粉から守りました。地獄のような光景だったと思います。そんなさ中「危ない！松の木が落ちる」と誰かが叫んだそうで、母が私たちをすぐさま移動させた途端燃え盛った松の大木が落ちてきたそうです。余りに強烈な出来事だったためか覚えているはずもない年齢でしたのに今でも時折その時の光景が浮かぶ時がございます。父は出征から7年後に300人中7人の生き残りとして帰ってまいりました。昨年12月27日に95歳となりました。90歳の時肺がんの手術をしたのですが流石、生き残っただけあって精神力の強さと頑強な体力には感心させられます。父と私には一番大事な時期の7年間の空白がございました。中々馴染めず、元来真面目で気難しい人でしたので仕えるのに大変でした。そんなでしたから母は「あんたはどんな難しい人の所へお嫁に行っても大丈夫」と言っていたのを覚えております。ですが素晴らしい人と一緒に

なることができました事いつも感謝しております。

話は変わりますが、私は若い頃から旅が大好きで結婚前には結婚したらそうそう旅はできないだろうと思い東北一人旅をいたしました。50年も前ですからよく一人で10日間も行ったものだと思います。午ですからじゃじゃ馬だったのでしょう。鈍行を乗り継いで若者がよく利用したユースホテルやお寺に宿泊してぐるりと回ってきました。その中には中尊寺近くの今は国宝になっております毛通寺もございました。大阪に着いた時は100円しか持っていなくて、当時婚約中の主人が迎えに来てくれ「ほっ」としたのを今でも思い出します。予想に反し結婚後も旅行に行く機会が度々ございましてラッキーでした。主人がパラリンピックの役を務めておりました関係で同行もしましたし、プライベートでの海外旅行を入れますと100回近く出かけています。心に残る旅、感動の旅、元気をいただいた旅と色々ございますが、がっかりした旅は一回もございませでした。主人が亡くなってすぐ長男 厚がアメリカのナショナルパークヘッドライブ旅行に誘ってくれました。ロスアンゼルスのレストランで落ち合い 町で水、ワイン、食料品等を買ってその日のうちにヨセミテ国立公園内のロッジに宿泊し、二日後デスバレイに向け出発いたしました。途中 一カ所行きたいところがあると厚が立ち寄ったところは日本人の強制収容所でした。見渡す限りの草原の中にそれはありました。収容所の跡は勿論今は何もありませんが綺麗に保存され、比較的大きな建物の中には収容されていた方たちの写真と名前が張り出され、色々の当時の物が保存されていて、アメリカ人もかなり見学に来ていて流石だなと感心いたしました。収容されていた人の苦勞が推測され胸を打つものがございます。帰り際、厚が70歳くらいの外人とパーキングで長話をしていたもので何を話していたのか後で聞きますと彼は小学校の時、隣に座っていた日本の女の子にほのかな思いを抱いていたそうです。ところがある日突然その子がいなくなり後で日本人強制収容所に送られたことを知りました。行方を知る手立てもなく年が過ぎ、定年を迎えたのを機に日本人収容所をドライブしながら訪ねているとの事でした。小説のような話だなと思いましたが、私のように戦争のおかげで父との確執に苦勞したものから、小さい頃の思いをかなえる為に旅している人、国や状況は違えど戦争の爪跡はいたるところにあるのだなとその時つくづく実感いたしました。

ちなみに父は今は大変丸くなりまして、自立し年に負けず頑張ってくれていますのでありがたく思っ

おります。それに私は主人のお蔭で今こうして幸せと言える生活をさせていただいております。ロータリークラブにも入会させていただきました。皆様のお蔭で今日までやってまいりましたがこれからはもっと勉強しなければと反省いたしております。新年早々とりとめのないお話を聞いていただき有難うございました。皆様にとりまして幸せな年でありますよう、私も午の年にあやかり元気で前向きにこれからも進んでいけたらと思っております。有難うございました。



西口 昭一 会員



新年早々、どんな話をすればよいのかわかりませんが、午年という事もありまして私の生まれた昭和 17 年 12 月 27 日の新聞がありまして、それを読んでその時代どんな事が起きていたのかをお話するつもりでしたが、新聞の漢字が難しく、又、文章もわかりづらく、そして戦争ばかりのニュースで、インドのカルカッタにせめこんで連戦連勝という事で賑わっているようすが大きく書いていました。これではあまりにも話にならないので去年母親が亡くなり、母の物を整理していますと、戦争に行った父親からのハガキが 20 枚程ありまして、私宛の物も 2 枚ありました。父親の記憶は全くないので、父の話をしたことがあまり

りないのですが、ハガキの中に書いていた事と、母親から昔聞いた事を思い出して少しだけ父の話をさえてもらいたいと思います。父は私が生まれて 5 ヶ月程経ちまして中国の満州に出兵しました。27 歳の時でした。戦争に行くのが少し遅かったのはハガキの中にも書いていましたが、「体重が軽く、52Kg より増えなくてつらい」との事でした。そんな事で身体検査で不合格になり遅くなったようです。普通は行かなくてもよかつたらしいのですが、インドの戦いに人員が多く必要になり、満州からの兵が行ったようで満州の方が少なくなり、戦地に行くようになったらしいです。その当時の満州はハガキを読んだかぎりでは、戦闘もなく訓練ばかりをしていたようでした。

ただ、父は体が弱かつたらしく、「薬を送ってほしい」と度々書いてありました。そうして 3 年程過ぎまして、ソ連の参戦もあり昭和 20 年終戦となりソ連の捕虜となってニコライエフスク収容所に収容されました。それからは 1 枚のハガキもなかったのですが、2 年程経ってからの物だと思いますが、父の戦友からのハガキがありまして、そこには「父からの預かり物を預かって日本に帰ってきた」という内容のものでした。それからしばらくして収容所からハガキが届きましてそれには「近い内に帰りますから」というものでしたが、帰りの順番を待っている間に病気になり、亡くなってしまいました。昭和 22 年 31 歳でした。最後に私宛のハガキを 1 枚読ませていただきます。

こんな時代は二度とこないと思いますが、今年も大きな災害のない穏やかな年でありますようお願いしまして終わらせていただきます。

「和歌山市長表敬訪問」 2013 年 11 月 26 日(火) 14:00～ 郷間会長・奥村幹事

